

“結愛” ~ゆい~

『職員紹介』

通所リハビリテーション室に所属している介護福祉士の廣瀬 浩恵です。出身は山梨県で『富士山に一番近い湖』がある山中湖村です。子供の頃から山中湖と霊峰富士を仰ぎ見て育ちました。趣味はスポーツ、料理、大声で歌うこと！大自然で育った賜物です。現在、来所している利用者様の中には私の両親と同世代の方が多く、大変ご苦勞された方がいらっしゃいます。このような利用者様に少しでもゆったりとした時間を過ごして頂ける様、介護福祉士として日々関わっています。生まれも育ちも違う利用者様と出会ったのも何かの縁、大先輩方のお話をたくさん聞かせてください。



『利用者様の声』(訪問リハビリテーション室 網干 隼人)

今回の利用者様は72歳のK様を紹介します。K様は、脊髄炎、胸部脊柱管狭窄症と診断され、現在は車椅子で生活しています。訪問リハビリに対する感想をお伺いしました。「最初はベッドやトイレに移るのも大変で何度か転ぶこともあったけど、リハビリをしてから徐々に足に力が入ってきて、今では自分でもトイレに行ったときに立つ運動をするようになった。今は、リハビリの時に歩行器を使って、介助してもらいながら家の中を歩くことができるようになった。」とお話してくださいました。今後もリハビリを受けながら歩ける距離を少しでも伸ばしていきたいとも希望されています。また前回の広報誌を見て「ピアノの演奏をやってる人がいるんだね！自分も若い頃はバンドを組んでギターをやっていたから、もう一度ギターを始めてみようかな。」とお話されていました。家ではテレビを観て過ごすことが多かったので良い刺激をもらい、楽しみを持ちながらこれからもリハビリをしていきたいとお話をいただきました。



『熱中症予防対策』

これから暑くなり、熱中症が疑われる時期になります。今回は、熱中症予防をお伝えします。

【熱中症が疑われる症状】

高い体温、皮膚が暑い・赤い・乾燥している、頭痛、めまい、吐き気など

【症状が見られたときは・・・】

涼しい環境へ行く、脱衣・冷却を行う、水分・塩分の補給を行う

※吐き気や吐くことがある場合は腸の動きが悪くなっているのでむやみに水分は与えず、医療機関への搬送を行ってください。

【予防対策】

水分・塩分の補給(塩分は1Lの水分に1~2gほど)。こまめに部屋の気温を測定する。(目安は28℃)、服装はぴったりした服よりも少し緩い服装で通気性の良い服を着る。